

丹波篠山市立篠山中学校 学校だより

明るく楽しく厳しく

第2号

令和2年5月1日

丹波篠山市立篠山中学校

丹波篠山市東沢田224

TEL079-552-1155



[学校教育目標] 基礎力・思考力・実践力をもち、支え合い躍動して学び続ける生徒の育成

[めざす学校像] 未来に向けて学びを創る学校 生徒・教師の対話がこだまする学校

☑わやかな学舎 ☑さえあう仲間 ☑くどうする授業 ☑ごころあられる集団

※スマートフォン、タブレットでQRコードをかざすと、篠山中学校ホームページにアクセスします。

～1年に5mmの成長もやがて大きな山脈になる～

人類が英知を結集しても、いまだにその本当の姿を解明できない新型コロナウイルス、このウイルスの生存戦略は巧妙で、人から見つからないようにして、人を重症化させずに蔓延していきます。だから、いわゆる三密（密閉空間[むんむん]、密集空間[ぎゅうぎゅう]、密接場面[がやがや]）を避け、不要不急の外出を控え、人と人との接触を通常より減らすことがより大切なこととなっています。

- ① こまめな手洗い、咳エチケット（マスク着用）など感染予防対策
- ② 家庭と連携した生徒の日々の健康観察（毎朝の検温及び風邪症状の確認）
※学校が再開された場合、発熱等の症状があれば登校させない。
- ③ 十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事
※極力人の少ない屋外での運動や散歩まで制限するものではありませんが、感染拡大を防ぐために多人数での遊びやゲームは控えてください。

さて、学校で守らなければならない最優先は、命と健康です。国の緊急事態宣言や県・市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議を受けて臨時休校が5月31日まで再延長となりました。（5月8日（金）に追加の課題や予定について連絡網サービスでお伝えします。）これは、人と人との接触を極力減らして感染拡大を防止し、生徒の命と健康を守るためです。

ところで、若者層に対する学校で得られるもののアンケートで、「基礎学力」「同世代との人間関係」があげられています。学校からの家庭学習課題は、学校再開時に円滑にスタートが切れるよう、教科の特性にあわせて予習課題や、次の学習の下地となる反復練習を出題しています。今後、学校が再開した時に、「命・健康」と「基礎学力」「人間関係形成力」をバランスよく実施していけるよう準備をして学校再開をまっています。

さて、エベレストを含むヒマラヤ山脈は、大昔は海の底でしたが、今では8000m級の山々がそびえたつ大山脈です。しかし、その成長は1年間にわずか5mmであると言われます。思春期は体も心も大きく伸びると言われますが、これも、毎日のほんのわずかな前進の積み重ねだと思えます。休校も3ヶ月目に突入し、がまんを強いられることが多いですが、「ほんの少しでもいい。前進する毎日であってほしい。」粘り強く予習と健康管理に取り組んでいってほしいと思えます。

休校で伸びるスマホ・SNS 利用時間

TesTee Labの「新型コロナウイルスの影響調査（行動編）」（2020年4月）によると、学校休校後、利用が増えた媒体はスマホがトップ。中学生では、TVが54.8%、雑誌・漫画・本が18.9%、PCが12.7%に対して、スマホは72.2%と大幅に増加。

利用が増えたサービスでは、中学生でYouTubeは87.8%、SNSは72.7%、ゲームアプリ56.7%で、動画・SNS・ゲームの時間が長くなっている。



学校いじめ防止基本方針について

学校いじめ防止基本方針の令和2年度改訂版をホームページにアップしています。本年度版では、昨年度認知した8件のいじめの分析から、特に以下の点を改訂しています。

- (1) 「いじめはどの学校・どの集団でも起こりうるものであり、大人には気づきにくいところで行われることが多く発見しにくい」という認識に立ち、日常生活における生徒の学習環境・言語環境を整え、豊かな人間関係の構築を図る。
- (2) 授業や行事、部活動等の中で、協働的な学びを充実させ、意見交流する中で、生徒が安心でき、自己存在感や自己有用感が感じられる居場所づくりと絆づくりを進めることによって、「いじめを生まない土壌」と「いじめが起こらない学校風土」をつくる取組を推進する。
- (3) いじめの兆候を逃さないために、生徒や保護者からのどんな些細な情報でもしっかりと聞き取り、常にアンテナを高く意識しておく。また、聞き取った情報を記録し、速やかに情報共有するとともに、即時即日、迅速で適切な教育相談・教育指導を行う。
- (4) いじめの兆候を発見した場合は、個人で有無を判断するのではなく、背景にいじめがあるものとして問題を軽視することなく、見聞きした事実を必ずその日のうちに生徒指導担当、管理職に報告する。保護者と早期に指導方針を共有する。

これらの指導は、管理職、生徒指導担当教員、学年生徒指導担当教員、養護教諭、スクールカウンセラー等からなるいじめ対応チームで組織的に対応します。さらに、多様な生徒の悩みに応えるため、学級担任を原則としつつ、教育相談担当を設けています。

連絡先 TEL552-1155

(教育相談担当) 谷口竜平 瀧澤友悠 杉本真希

(いじめ・セクハラ・体罰相談担当) 岸田幸雄 宮本奈津美 中野敦子 杉本真希 河南留美

ご家庭におきましても、学校いじめ防止基本方針をご一読いただき、いじめの定義「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」を確認ください。

コロナウイルス感染拡大防止のための休校が続いているため、行事予定を検討し直しています。6月号から今月の行事予定を掲載します

